

アカゲラ

全長: 24cm (留鳥) ★ 円山公園では普通に見られるキツツキです。背中の逆ハの字型の白斑と腹部と頭部の赤が目立ちます。メスには頭部の赤色がありません。使い終わった巣は、多くの野鳥や動物が利用するので森の大工さんとも言われます。



ヤマガラ

全長:14cm (留鳥) ★ 胸から腹にある赤茶色が特徴です。オンコ (いちい) の赤い実が大好物です。 秋になると、この実を樹の割れ目や地面などに隠して蓄える (貯食) 習性があります。ツンツンビー・ツンツンビーと鼻にかかった声で鳴きます。



ハシブトガラ

全長:12cm (留鳥) ★ 頭に黒い帽子を載せたような姿に全体が白っぽいので、すぐわかります。昆虫や虫の卵などを探して食べますが木の実なども少しは食べます。ツツッ・ジェージェーとやや高い声で鳴きます。



ヒガラ

全長:11cm (留鳥) ★
スズメよりもかなり小さく、頭上に冠毛(かんもう)があり、興奮すると逆立ちます。マツやスギの木に好んで生息し、鳴き声はツピまたはツツピを早いテンポで繰返して鳴きます。

1 2



シジュウカラ

全長: 14cm (留鳥) ★
公園にいる代表的な野鳥で普通に見られます。白い頬(ほお)と胸から腹にかけて黒いネクタイ模様があり目立ちます。ツーピーツーピーと大きな声で繰返し鳴きます。人をあまり恐れず近くまで来ます。



コゲラ

全長:15cm (留鳥) ★
日本最少のキツツキです。ギーギーと
金属的な声で鳴くのですぐに見つける
ことができます。翼と背中の横じま模
様が目立ちます。オスには頭の赤い部
分がありますが滅多に確認できません。



ゴジュウカラ

全長: 13cm (留鳥) ★ 円山公園で最も見つけやすい鳥です。 青灰色の背中に白い腹、短かい尾が特徴。あまり人を恐れず、そばまで近寄ってきます。頭を下向きにして幹を降りることが出来るのはこの鳥だけです。「フィフイフイ」と繰返し鳴きます。



ハクセキレイ

全長:21cm (留鳥) ★ 体全体が白と黒の細いスマートな鳥。 チチンチチンと細く澄んだ高い声で鳴きます。屋根の上、電線など目立っと ころによく止まり、長い尾を上下に振るのが特徴。冬はオスメスともに羽の色が似るため区別が難しい。

4



ムクドリ

全長: 24cm (留鳥) ★ 円山公園では早朝に群れで地上の昆虫類を採食する姿を観察できます。白い類にオレンジ色のクチバシと足が目立つ特徴です。冬はナナカマドなどの街路樹に集団で来て実を食べる所が観察できます。



ヒヨドリ

全長: 27cm (留鳥) ★ ヒーヨヒーヨと鳴くことからこの名が 付いた。鳴き声と姿が最も目立つ鳥。 上下に大きく波型に飛ぶことから遠く からでも識別は容易です。雌雄同色。



シメ

全長:19cm (留鳥) ★ 肌色の太いク チバシと短い尾、ずんぐりとした体が 特徴です。人家近くでも普通に見られ ます。まっすぐ直線的に飛び、シーッ シーッと細くて強い鳴き声を出しながら飛ぶ姿がよく見られます。



スズメ

全長:14.5cm (留鳥) ★
オスメス同色。頬と喉に目立つ黒い班があります。巣立ちしたばかりの幼鳥では色が薄い。チュンチュン、ジッジッなどさまざまな声を出します。草の種子など植物食が基本だが繁殖期には虫も食べます。

5 6



ハシボソガラス

全長:50cm (留鳥) ★
ハシブトガラスとの違いは、クチバシが細いことと額の出っぱりが小さいことです。円山公園ではクルミや堅い殻の木の実を道路に落として割る様子が見られます。

繁殖期でも人を襲うことはありません。



ウソ

全長:16cm (留鳥) ★★
スズメくらい。オスは頬の赤い部分が
目立つが、メスや幼鳥は頬が赤くない。
口笛のような細い澄んだ声でヒフ、ヒ
フと繰り返し鳴き、桜やリンゴなどの
花芽を食べます。本州以北の高い山で
繁殖し、冬、低地に下りてきます。



ハシブトガラス

全長:56cm (留鳥) ★
ハシボソガラスより体がやや大きく、
額の出っぱりが強い。「カーカー」と
澄んだ声で鳴きます。5月には巣造り
を始め、6,7月にヒナが生まれると
警戒心が強くなり、人を攻撃する場合
もあります。



エナガ

全長:13.5cm (留鳥) ★★ 小さな身体の割に尾が長いためこの名前がつけられました。本州のエナガと較べて体全体が真綿のように白く、雪だるまのように見えることから「ダルマエナガ」とも呼ばれています。木に付いた小さな虫を主に食べます。

7



カケス

全長:33cm (留鳥) ★★ 春夏は主に高い山で繁殖し、秋から冬にかけて市街地の公園や人家近くに下りてきて、冬を過ごします。雑食性ですが特にドングリ類を好み、土の中にドングリを埋めて貯食し、冬から春先に取り出して食べます。



マガモ

全長:59cm (留鳥) ★ 円山公園では一年中見られます。池や 円山川に生息し、春から秋には10~ 20羽ほどが観察できて、明るい日中 は池で過ごし、夜間になると近くの川 などで植物の種子を採食しています。



クマゲラ

全長:46cm (留鳥) ★★★
日本最大のキツツキで天然記念物。カラスくらいの大きさです。秋から冬にかけては行動範囲が広がって、公園内や神宮境内でもしばしば、観察されます。キョーンキョーンと良く通る声で鳴きます。



オシドリ

全長:45cm (夏鳥) ★
円山公園には5月に渡来して10月まで池に滞在し、11月から4月までは南の暖かな地域で越冬しています。毎年、繁殖していて6月から8月までヒナを連れて親子で泳ぐ可愛い姿を観察できます。(上がオス、下がメス)

9 10



メジロ

全長: 12cm (夏鳥) ★
円山公園では4月から10月頃までよくみられます。春は桜の花に群れでやってきて花蜜を食べます。体色が濃い草色で「ウグイス」の鳴く春先に群れで桜に付くため「ウグイス色」は、この鳥の体色と誤認したものと言われます。



センダイムシクイ

全長: 12cm (夏鳥) ★ 春から夏にかけて普通に見られます。「チョチョビー・チョチョビー」と繰り返し鳴きます。この声から「焼酎(しょうちゅう)一杯グイー」などと鳴いているとの聞きなしが有名です。



カワラヒワ

全長: 14cm (夏鳥 一部は越冬) ★ クチバシが太く飛ぶと翼の真ん中に黄 色い模様がくっきりと出るので遠くからでも見つけやすい。主に雑草の種子 や木の実を好んで食べます。キリキリ、コロコロと玉を転がすような特徴的な声で繰返し鳴きます。



アオジ

全長:16cm (夏鳥) ★★
オスは顔全体に黒味が強い。木々のや
や高い枝に止まり澄んだ大きな声で歌
います。ヒナの食べ物は、ほとんどが
昆虫の幼虫で、ヒナたちが無事に巣立
つまでには3000~4000匹の虫を必要
とします。



ウグイス

全長: ♂16cm ♀14cm (夏鳥) ★★ ホーホケキョ (法華経) と鳴き声が聞こえる有名な鳥です。4月から10月まで生息していますが囀るのは繁殖期の春だけです。巣造りも子育ても笹やぶで行うため円山の山麓まで行かないと声が聞こえてきません。



キビタキ

全長: 14cm (夏鳥) ★★ 囀りはオーシーツクツク、ピッコロヒッコロと繰返して高く澄んだ声で鳴きます。メスは全体にオリーブ褐色で目立たない色合いです。森の中間層の枝先にいるため、声を聞いても姿を見つけるのは容易ではありません。



ヤブサメ

全長:10cm (夏鳥) ★★ 春から夏にかけてシシシーと尻上がりの特徴的な声で鳴くので聞きわけは容易です。しかし、鳴きながらも地べたを徘徊(はいかい)するため姿を見つけるのは、とても難しい。



オオルリ

全長:16cm (夏鳥) ★★
日本で最も美しい小鳥のひとつ。円山
公園では5月の連休の頃に渡来し、オスは水辺の高い枝先でポーピリーピピなどと大らかに歌い、終わりにギッギッという声が入る。ウグイス、コマドリとともに日本三鳴鳥ともいわれる。

13 14



キセキレイ

全長:20cm (夏鳥) ★★
「水辺の貴公子 (きこうし)」とも呼ばれる黄色が目立つスマートな鳥です。 渓流を好み水辺をあるきながら昆虫などを食べます。飛んでいる昆虫を捉える「フライングキャッチ」を上手に行います。尾を上下に振るのが特徴です。



イスカ

全長:17cm (冬鳥) ★★★ 円山公園には冬鳥として渡来します。 マツ類やモミなどの針葉樹の種子を食 べます。嘴(くちばし)が左右に交差 しており、このことから物事が食い違 うことを「イスカの嘴(はし)」とい う諺(ことわざ)が生まれました。



ツグミ

全長:24cm (冬鳥) ★★
10月末にロシアから渡ってくる冬鳥です。体上面の茶色に白っぽい眉斑、胸から腹にある黒い斑点模様が特徴。飛翔中はクイクイッとかキュッキューなどと繰り返しながら良く鳴きます。4月頃には再び繁殖地に帰ります。



マヒワ

全長:12cm (冬鳥) ★★★
スズメより小さく体全体に黄緑色が強い。メスはオスよりも黄色が薄い。少数は北海道でも繁殖しています。群れで飛来しシラカバ、ハンノ キ、カラマツなどの種子を食べる。ビュ イーン、ジュイーンなどと鳴き交わします。

円山公園で見られる野鳥

野鳥は時期などによって、おおまかに次の4つに分類して います。

一年中生息している留鳥(りゅうちょう)。春から夏にかけ て子育てのため渡ってくる夏鳥(なつどり)。日本で冬を越 すためにやってくる冬鳥 (ふゆどり)。日本以外の国で繁殖 して春と秋に日本を通過する旅鳥(たびどり)です。 円山公園野鳥ガイドブックでは、この分類にしたがって、 どのような鳥がいるのか、ご紹介しています。

- ・標準和名
- ・全長(ちなみにスズメは 14.5cm くらいです)
- ・牛息区分(留鳥、夏鳥、冬鳥など)
- ・観察難易度

(★普通 ★★やや難しい ★★★とても難しい)

・主な特徴や習性

といった順に記載しました。

円山公園の探鳥会(バードウォッチング)

日本野鳥の会札幌支部では毎月第2日曜日9時~12時 まで円山公園(集合場所:南大通側入口)で探鳥会を開 催しています。



毎回たくさんの参加者が集まり、バードウォッチングは 初めてという方も多くいらっしゃいます。

季節ごとに毎回 20 種類から 30 種類を超える野鳥たちと の素敵な出会いが楽しめ、森の中を仲間と歩いているだけ で爽やかな気分になります。

初心者には、なるべく親切丁寧に指導するように心がけ ています。参加者同士でも、野鳥を通じて気軽に話しかけ あったりしますから楽しい雰囲気で楽しめます。

17

18

発行日: 2016年3月1日 第1版

写真提供(敬称略)

佐藤義則:ハクセキレイ、ヒガラ、ムクドリ、シジュウカラ、シメ、

ツグミ、ヤマガラ、ハシブトガラス

山田甚一:アカゲラ、クマゲラ、ハシブトガラ、カワラヒワ、オシドリ

島竹三紀:エナガ

池田憲治:ゴジュウカラ、キビタキ、オオルリ、キセキレイ、カケス、

コゲラ、アオジ、ヤブサメ

池上滴(URL http://hopisukebird.blog.fc2.com/):マヒワ、イスカ、

センダイムシクイ、メジロ、ウソ

猿子正彦:スズメ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ウグイス

田中博之:マガモ 解説:猿子正彦 デザイン:田中博之 日本野鳥の会札幌支部 発行



日本野鳥の会 札幌支部

札幌支部では毎月定例探鳥会を行っています。 会員は無料/一般参加者 300 円/小中学生無料

- ★第1日曜日 西岡水源池定例探鳥会(朝9時~12時) 西岡公園管理事務所前 9 時集合
- ★第2日曜日 円山公園定例探鳥会(朝9時~12時) 円山公園南大通側入口 9 時集合

どなたでも参加できる、バードウォッチングです。 詳しくはウェブサイトで http://sapporo-wbsj.org

